発行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475番
編集兼発行人　平島敏治
三鉱労組印刷工場
三鉱労組機関紙

共闘をガッチリ組め

二鑛窓口突破で斗う
化學關係は改選で陣容整う

総評では一月二十八日東京虎の門共済会館で春季賃上げ総決起大会を六単産を中心に開催された。この大会では統一こそ勝利の鍵であり、この統一の基礎は下部大衆にあるとして各地方に強力な共闘態勢を組むことを決定し、それぞれの単産の賃金その他の要求を掲げて闘い抜くことになり、二十日には大牟田地方の春季賃上げ要求獲得のための決起大会を開く事になっている。

賃金ストップの壁固し

全国の主要単産の中で、炭労が昨年立のために、いま闘っている三年末から賃金要求を掲げ立上って鉱労組でも中央炭労より各山で、いたが、共闘の波を合せるために各々経過措置と交渉権確立のため本年に持越し、経過措置、交渉権の団体交渉をもつことの指令をうけて二月九日　三鉱労組より宮川組合長　三鉱職組より村松組合長外執行員、会社側より佐藤所長外会社幹部が出席して団交をもったこの団交では交渉方式についてどうしても対角線交渉に応じろといい、会社の実情から資本別の交渉に応じて貰いたいといっている。又経過措置については新賃金が決定するまでは現行の賃金を決定版として支給したいと、経営者連盟が指向する賃金ストップのカベを強固に推し進めようとしている。これに対し炭労や三鉱労組はこの賃金ストップの壁を打破るために大衆行動を起すことを決定し、十日には職場大会を開き、態勢を固める。

他の単産は組合改選、選挙闘争を通じて強力な賃闘態勢を確立している。

共闘は大牟田が中心地
中央オルグ　太田合化連委長語る

二月八日大地評で開催された六単産（炭労、合化連、電産、私鉄、紙パ、金属）共闘地方会議には、三鉱、三染、東圧、合成、電産、港一、港二分会それに中央からのオルグとして合化労連太田委員長が出席、重大討議が行われた。

中央の戦術は大牟田労働者の意見で

冒頭太田オルグは、次の如く語った。

大工業地帯の大牟田が春季賃上闘争の全国的中心で、日本労働運動における中央支配の要でもある。そこで大牟田地区の組合員から意見を聴いて中央で戦術を決める考えである。

更に経上りのズレを調整するために、地方オルグを総評から大牟田に派遣でもしなくてはならぬと考えている。そして一応三月末が闘争の山という目標であるため、現在では若干のズレが出て来ているので、それを大牟田でなおさねばならない。そのために早速でも予定の目標に山を合せるべく徹宣活動に力を注ぎたい。

総評との連絡強化
共同聲明を速かに發表

現在まで総評からの指令、指示等機関としては大地評共闘委員会（一の一切のものが、福岡県総評を通じて大地評に届いた為、常に若干のズレを生じ、場合によっては実行計画の後に崩くと等があった中の徹宣部会議が傍宣を行う。そのので、今后は中央総評から直接大地評宛に指令、指示を流し、緊急立案し、各労組の機関決定を見た場合は電産の電話を利用して連上で対外発表を行うことが決定絡するという事が明らかになった。された。

南筑後の全労働者が参集
政策変更國民大會
2月20日笹林公園で

選挙闘争はいよいよ中盤戦を迎えて表面おだやかな選挙戦も、金権候補の実弾は選挙において益々ろつ化し、将に喰うか喰われるかの烈な闘いが続けられている。

革新陣営では政治活動の自動車を利用して政策の普及宣伝を行い、これに拡聲射撃を続け、必勝を期している。

さらに又、春季賃上げ闘争のヤマを三月目標に、統一すべく六単産（炭労、合化労連、電産、私鉄、紙パ、金属）の地方共闘会議が中央からのオルグを招き、大牟田で開催される等まさに春季労働攻勢の火ぶたは切っておとされた。

これに先きだち、二月二日の第二回委員会において　は事務局から の報告で　戦争政策を平和の方向へ変更さすべく。二月二十日、笹林公園において政策変更の国民総決起大会を開催することが万場一致決定された。具体的計画は実行委員会に一任され、また筑後の各地協（地区労働組合協議会）も最大限の動員で参加することが大地評で催した地協連絡会議で確認された。

メーデー計画進む
大地評で實行委發足

二月二日の大地評第二回委員会において、メーデーの実行委員会発足が提案された。会議では政策変更、動労、国民大会の実行委員会をそのまま横すべりさせること、全国一のメーデー計画として早く合文化祭すなわち一大メーデー前夜祭を四月中旬に、地方選挙の間隙をぬって実行しようということも話題を呼んでいる。

三月の初旬には大牟田地区の各友誼団体、文化団体、商人、農民等が関係者の間で進められている。

書記局便り

五日　大地評戦術委員会
六日　共済会統合委員会
七日　中央執行委員会
八日　大地評六単産共闘打合
九日　切賃専門委員会
十日　生協鉱職打合せ

戦術会議に大地評も

六単産共闘で使用した経費は関係組合で按分負担し、西鉄労組には書面で正式申入れを行う。そして執行部の交流は勿論　大衆交流等（炭婦協等）で確実な地固めを行い、共同デスクを活用する。

更に県総評と地区労との関係が不明確である点が論議された。最后に三月上旬中央で行われる戦術会議には地協を招集して意見を聞き調整して行くが、大地評からも是非出席されることが要望された。

大牟田でも共闘で
三染・三合・東圧　合同執行委員会

去る七日午後六時から、三染、三単産の統一闘争の方針を大牟田地区でも強力に準備してゆくことを申し合わせた。

なお、六単産とは、炭労、合化労連、電産、私鉄、紙パルプ、金属の合化労連大会の決定により、六の全国組織のことである。

新陣容で　春季闘争挑む
各勞組で役員改選しきり

失業者を泣らんさせ、中小企業を破産に追いこみ、国民大衆を極度の貧困に落し入れた吉田の暴政は今また同じ穴のむじな鳩山によって受けつがれようとしている。これら保守党の戦争政策を打ち破るべく平和政策へ変更しない限り、働く人々の生活安定は毛頭考えられない。そこでこの政策変更の闘いは引続く総選挙と賃上げ闘争に重大なる運命が果せられている。各労組ではこの強烈を予想される闘いを勝ち抜くために新陣容をもって対決を挑んでいる。以下各労組の新執行部

三染　委員長　髙下　常雄　前
　　副委員長　田中嘉八郎　元
　　書記長　岡部　嶺
　　総務部長　

文教部長　福山　薫
組織部長　北崎　明
副　〃　土山　晴
給厚部長　堀川　隆
財務部長　塚川　信雄
委員長　渡瀬　駿　前
書記長　森田　昌幸　元
執行委員　鳳斗　長　元
〃　菊次　亘　前
〃　渡瀬　英行　前
非常駐　井上　正勝
〃　寺田　実三
〃　来島　正明

電化組合長、副組合長は十五、六日に決戦投票で決定予定

書記長　大本春夫　新委員

職務担当は未定

二月二十六日に改選

賃金の不拂いで
坂本鉄工を假差押え

昨年二月からの未払賃金約六十万円獲得を目指して闘っている坂本鉄工従業員等は大地評国民救援会の応援を得て二月九日仮差押への手続きを完了した。去る四日鷗山弁護士と大地評渕田事務局長は親本組（従業員二十七名）では、十一月下旬より賃金の未払いが続き正月以后一率二千円が支給されたのみである。

二月七日従業員は大地評を訪れて生活苦を訴へ、いろ〳〵事情を聴取したので当面労働組合を結成もあるので、賃確書同志での争いになるかあるいは坂本鉄工株式会社が銀行とのメンツを考えて不払賃金の金づくりをするかは今后の交渉に待たれている。

採石場でも遅払

大牟田市四ツ山にある採石工場山本組（従業員二十七名）では、十正月以后一率二千円が支給されたのみである。

三染　賃増闘争を準備
前哨戦を通じ主體制確立

三染労組は去る一月、組合の総改選を終り、執行部、支部とも新しい編成の下にすぐさま賃上げ問題に対処してゆくことになった。

去る八日開かれた同労組の代議員会は現在会社との間に件案事項になっている奨学資金、永年勤続表彰、結婚資金貸付、労協等の諸問題の解決をめぐって、これを賃増闘争の前しょう戦として交渉してゆき、賃増闘争の主体制を整備することを決定している。

一方　三染職員組合は、三化連より賃増を要求し、すでに交渉段階に入っている。この三染職組のやり方に対しては、合化連の下で統一闘争に立ち上ろうとしている三染労働者の闘争をふたゝび分裂に導くハラである、との批判の声も生れて来ている。

なお、合化労連中央執行委員長太田熙氏も出席し、席上次のように挨拶した。

賃上げについては炭労、合化労連、電産、私鉄、紙パルプ、金属の六単産で共同闘争を進めている。

大牟田地区では、三鉱労組を中心に三染、三合、東圧、電産と共同してゆくが一番有利だろう。職員が闘争に水をさすことがあれば、三鉱労組を加えての大衆行動で解決すればよい。

賃金ストップの壁固し

全国の主要単産の中で、炭労が昨年立のために、いま闘っている三年末から賃金要求を掲げ立上って鉱労組でも中央炭労より各山で、いたが、共闘の波を合せるために各々経過措置と交渉権確立のため本年に持越し、経過措置、交渉権の団体交渉をもつことの指令をうけて二月九日　三鉱労組より宮川組合長　三鉱職組より村松組合長外執行員、会社側より佐藤所長外会社幹部が出席して団交をもったこの団交では交渉方式についてどうしても対角線交渉に応じろといい、会社の実情から資本別の交渉に応じて貰いたいといっている。又経過措置については新賃金が決定するまでは現行の賃金を決定版として支給したいと、経営者連盟が指向する賃金ストップのカベを強固に推し進めようとしている。これに対し炭労や三鉱労組はこの賃金ストップの壁を打破るために大衆行動を起すことを決定し、十日には職場大会を開き、態勢を固める。

他の単産は組合改選、選挙闘争を通じて強力な賃闘態勢を確立している。

前進
春季賃闘と總選挙

二十七日には総選挙が行われる。只今日本の津々浦々に選挙戦が華々しく展開されているがこれが中盤戦、終盤戦となるに及んで理性を失する人が段々多くなって行くのが日本人の通性だから、もう一度思い返す意味で、何故この度の総選挙は行われるのかを考えて見るのも、あながち不必要でもないと思う。

今度の総選挙は汚職、疑獄に始つて検察廳法十四條の指揮権發動に及んだ政治の腐敗に全く國民の信用を失い、どうにもならなくなつて吉田内閣は退き、手続上民主黨が交つて解散の役を買つただけのことで、與黨である民主黨も、主權者國民の信任を受けた譯ではない。そういう意味で、現在日本では信任を受けた政黨は一つもなく今度の選挙で何黨が信任されるかを決めるわけである。

そこで今度の選挙に當つて、先ず第一に考えねばならないことは、何といつても日本の政治が國民から信用されねばならない。それには汚職、疑獄の疑いをなくすることでなければならぬ。もう一歩進めていうと汚職疑獄の臭みのある候補者は徹底的に追放し、國民に信用される政治に引戻さなければならぬ。

然るに最近汚職議員と呼ばれる候補者が、田舎の個人演説会で「そんなことは新聞が書いたり作りごとで、選挙でも終つたら明瞭に致すつもりです」とか、又、もつとヒドイのになると「あの人は人格者だが金がない、あんな人こそ日本の為めに又郷土のために惜しい人物だ」といつて、金を持つて來て呉れたのがナゼ悪い等ウソブイていると いうことを聞く、ことこゝに至ると常人沙汰ではないが、農村ではこれが受けているというから、一笑に附せないと思つて取り上げた。

又一方ではオビタダシイ金が流れているとも聞いている。再びいまわしい買收という聲を聞くのではないか？

このようなものを徹底的に叩いて明るい日本を打ちたてることが主権者である國民の務めであり公明選挙の方向でなければならぬ。

それともう一つの大きい性格は憲法改正であり、これにつながる再軍備の問題である。われ〳〵勤労大衆に取つて憲法改正を許すか許さないかによつて、百年の禍根を残すか否かの重大な選挙でもある。丁度これと時期を同じくして春季賃上げ闘争も逐次盛り上り、六単産共闘に發展、地元大牟田でも、三鉱、三職、三染、東壓、合成、電産の共闘会議が持たれ、共闘戦術委員会、オルグの交換等を決定三月下旬をヤマに持つて行くよう中央にも壓力を加えるという異状な決意を以て、大牟田六単産の共闘はガッチリと組まれ、既に三鉱はこの線に沿つて行動を開始した。

私達はこの闘争を有利に導くため我々に寄せられたデフレのシワを一應総選挙でのばしておかなければならないことも、総選挙に当つて忘れてはならないことである。

色々な意味から今度の選挙は重大な意義を含んだ中で行われようとしている。

☆　☆　☆

◎この機關紙は大牟田地區勞組共同編集です◎

選挙のスキに首切
斗わない組合の悲劇

炭労の闘争がひどすぎる、という批判をもって、元炭労委員長武藤武雄氏一派の常磐炭鉱は炭労を脱退して、全炭鉱（全労系）を組織した常磐炭鉱に首切が起つている。

常磐炭鑛が槍玉

常磐炭鉱では一月十八日の経営協議会の席上　会社より成績不良の四坑を閉鎖したいので、これに伴う八五〇名の首切りと、一、〇五〇名の配転を行いたいむね申し入れがあった。これに対し組合は、賃向から反対を表明した。

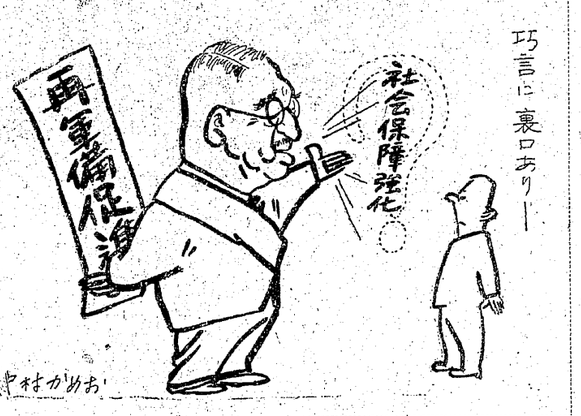
しかし、現実は全く重大にして微妙な段階にあるので、同労組々合員はもとより、周辺の他産業労働者も、その成行きを注目している。

とくに経営者は　組合が総選挙に目をうばわれているスキをねらって、前記のような大量首切りと配転を出してきた点と、四月に行なわれる地方選挙に対し、従来会社側が多数出していたのを今回は余り出さないことを条件に、首切と配転を呑ませようとしているよう な風評が巷間に流布されている点である。

また一説によれば、長欠者、成績不良者などから三〇〇名ていどの希望退職者をつのるという点にしぼるという風評も流れている。

しかし、会社がどうしてこうと組合員と家族とは徹底的に反対闘争に立上る決意を固めており、炭労との共闘申入れが行われる模様が注目される。

巧言に裏ロあり



まな板に議員を載せて総選挙
汚職には触れず代議士よく喋り
国会で居眠り二号のひざで踊る

三川　益城　笑六
四田　内藤　英輔
三川　草野　秋歩

民主勢力の彈圧者
池田判事は『×』と決定す

総選挙と同時に最高裁判官の国民審査がある。

これは憲法第七十九条によって内閣が最高裁判所の裁判官を任命した後、はじめて行われる総選挙のさい国民審査を経なければならないことになっている。十五名の裁判官中まだ国民審査をうけていない裁判官は、池田克氏一人である。同氏に対しては、総評としては適格でない（×）として次の理由をあげている。

彼は八年以上の長い期間、思想検察行政に従事し、追放をうけていたが、一貫して民主勢力の処罰について研究し、警官を出崎、佐賀と遍説にまわっていたが、その成績は抜群である。今、再軍備がとやかくいわれ、教育者弾圧、労働組合の弾圧、特高の復活が問題になっている矢先、このような人が最高裁判所の裁判官として信任されることは、逆コースをたどるものであるしいつ我々に弾圧のメスを加えるか図り知れない。民主々義と平和と生活権を守る前衛である労働者が、このような一方的な見解を有する裁判官を不適格として×をつけるのは当然である。

ということである。

木庭氏（三職）瀬高町議に當選

去る一月三十一日、地方選挙のトップを切って行われた瀬高町々議員選挙には、大地評では同町の封建制打倒のために、町政刷新同志会と連携をとり対策、応援を行い大地評公認として木庭栄治氏（四〇才、三鉱職組）はみごと当選の栄を獲得、第二位で当選した。同氏の当選は今後の選挙に大きな確信を与えて喜ばれている。

田中・坂本應援に
阿具根参議來る

三池出身の阿具根参議は炭労の政治員として公認、推薦候補の選挙応援のため北海道、常磐、山口、長崎、佐賀と遍説にまわっていたが去る七日午後六時から、三染、三単産の統一闘争の方針を大牟田地区でも強力に準備してゆくことを申し合わせた。

なお、六単産とは、炭労、合化労連、電産、私鉄、紙パルプ、金属の合化労連大会の決定により、六の全国組織のことである。

態勢確立のため
三鉱運中央委員会開く

三鉱運中央委員会は二月十八日より二日間の予定で東京で開かれる報告事項としては賃金闘争、経営方針変革闘争、期闘カンパ、生協三井型塩副業について、①経営方針変革闘争に対する意志統一と拡大中闘設置について。②けい肺、肺結核患者待遇に関して炭労大会でモデル案が決定しているので具体的に闘争を進める。③労協については経営協議会、苦情処理の外は自動延長。④選手に関しては三月で切れるので一年延長の考え方。⑤海外渡航者のカンパに対する考え方。などを検討する。三池からは菊川副組合長、藤木財務長が出席する。

定時制學徒との懇談會
學問の自由を叫ぶ

大牟田商高等学校（普通課程、商業課程）
三池工業高等学校（工業課程、機械、化）

三池北高等学校（農業課程）
三池高等学校（普通課程）

では左記の要項により生徒募集を していています。

①入学願書提出　（志望する学校へ）
自　三月三日、至　三月五日
②二月十九日の学力検査を受けていない人も、三月三日より三月五日までに願書を出して下さい
③二月十九日の学力検査をうけていない人達のために、三月六日より十七日までの期間において認定考査（数学、国語、理科、社会）を各出願校で行います。その考査日は出願の折各出願校に御尋ね下さい。
④合格者発表　三月十九日　午前九時
⑤同認定考査の折二、三年生の編入考査も行います。

緑ケ丘・三本松に支店を開きました。何卒御利用願います
★入学用品大奉仕
☆家具一式の販賣を始めました
二神百貨店
大牟田市泉町　電4887

春を飾る
貴女のモードが大量入荷
ランドセル 入学兒童用品　大安賣り
靴はミッキー
有明町（市民館前）電2471

入學用　ランドセル 学生服 カバン各種　大量品揃
龍洋品店
築町バス停前

ランドセルは専門の當店で
学生カバン・リユツクサツク
学童用ズツク　各種品揃
カバンの修理も致します
靴・カバンの　井上
築町（津多屋跡）TEL 3059